

ドメーヌ・ド・ショーモン・シュール・ロワール

自然と芸術の中心地

壮麗な場所で過ごす素晴らしい一日
「造園デザインにおける世界の首都、
自然の中の芸術の中心地」

2018年



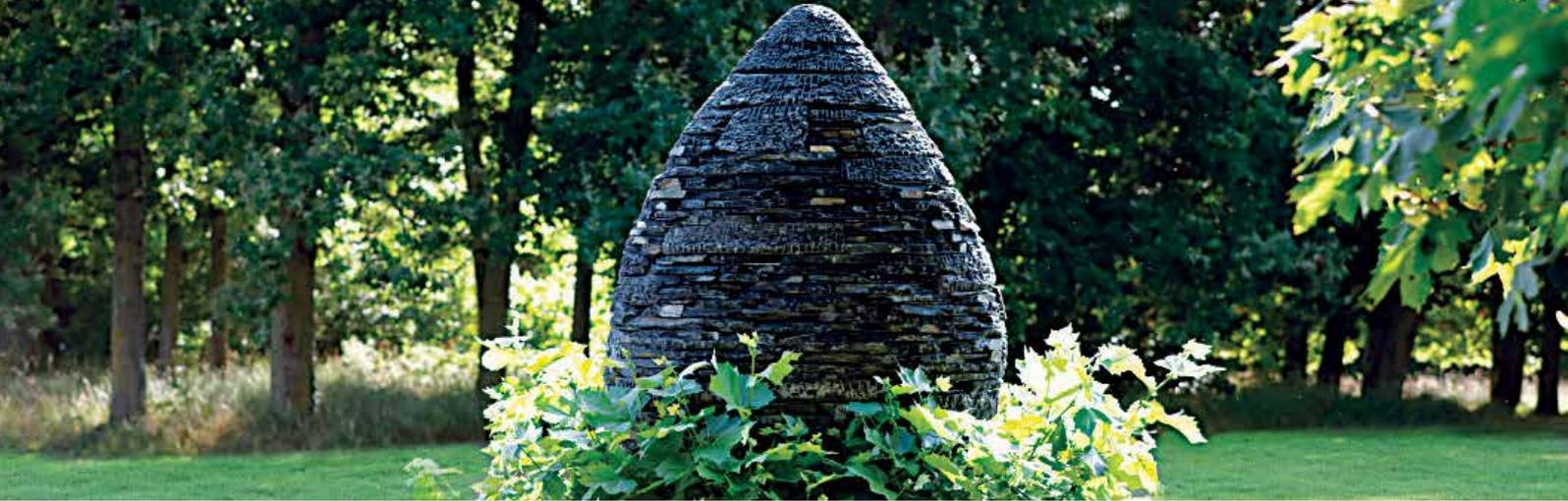
DOMAINE RÉGIONAL
DE CHAUMONT-SUR-LOIRE



年中無休

WWW.DOMAINE-CHAUMONT.FR

T. +33 (0)2 54 20 99 22



比類ない文化遺産

パリから2時間ほどの場所にあり、ロワール川を望む高台に位置するドメヌ・ド・ショーモン・シュール・ロワールは、その自然の景観がユネスコの世界遺産に登録されており、一年を通して訪れることができます。

32ヘクタールの広さを持つ当領地は、以下の3つを統合しています：

- ＞ 芸術・自然センターは、毎年世界的に有名な15人ほどのアーティスト、造形アーティスト、写真家を招待しています。
- ＞ 国際庭園フェスティバルは、1992年から続く世界有数のフェスティバルで、庭の専門家や愛好家から高い評価を得ており、毎年異なるテーマを設けて、世界中から造園家や庭園デザイナーを招待しています。
- ＞ ロワール渓谷の最も美しい城の一つで、広大なイギリス風の風景式庭園に囲まれています。

その3つのアイデンティティはショーモン・シュール・ロワールの魅力で、芸術愛好家や好奇心旺盛な方、熱心な園芸家や冒険家、そして文化遺産の専門家や歴史愛好家に感じていただけます。

ドメヌ・ド・ショーモン・シュール・ロワールが取得している様々なラベル：

- ＞ 「Jardin Remarquable（優れた庭園）」
- ＞ 「Arbres Remarquables（優れた樹木）」
- ＞ 「Qualité Tourisme（クオリティの高い観光）」

様々な魅力を持つ当領地は、お一人で、カップルで、お友達と、ご家族で訪れるのに理想的な場所です。ドメヌ・ド・ショーモン・シュール・ロワールにどうぞお越しください！



フランスの王妃や公妃らの居城となった比類ない城

ロワール渓谷を望むショーモン城は、文化的景観がユネスコの世界遺産に登録されており、ロワール河畔の古城の中でも傑出した城の1つとなっています。美しい庭園に囲まれたショーモン城からは、素晴らしいパノラマが望めます。

16世紀には王妃カトリーヌ・ド・メディシスが所有し、次いでその恋敵であったディアヌ・ド・ボワチエの手に渡ったショーモン城は、その歴史を通じて、ノストラダムス、彫刻家ニニ、ベンジャミン・フランクリン、ジェルメヌ・ド・スタールといった数多くの著名人を迎え入れてきました。

19世紀末には、ショーモン城最後の個人所有者であったブロイ公妃が城に近代的な息吹をもたらし、絢爛豪華な饗宴が催される華々しい時代を迎えました。



Le Grand Salon - © Eric Sander

ショーモン城の見どころ

歴史的な居室

ブロイ家の手によって復元された部屋の数々では、王妃カトリーヌ・ド・メディシスやディアヌ・ド・ボワチエ、また王妃カトリーヌ・ド・メディシスの占星術師であったルッジェーリといった、個性豊かな歴史上の人々の暮らしを垣間見ることができます。

個人居室

1875年6月、マリー=シャルロット=コンスタンス・セイは、ショーモン城を買い取り、夫であるブロイ公と共に数々の工事に着手し、とりわけルネサンス様式の内装を施しました。こうして、数ある部屋全体に、家具や調度品が置かれ、内装が施され、それらは後に豪華な饗宴が催される舞台となりました。

礼拝堂

礼拝堂は、16世紀の初めに建設が行われ、フランボワイヤン・ゴシック様式の彫刻による装飾が施されました。礼拝堂のステンドグラスは、ブロイ家に至るまでのショーモン城の歴史を物語っています。



Le Petit Salon - © Eric Sander

ショーモン城のまわり

厩舎

ヨーロッパで最も豪華で近代的な厩舎が、ブロイ公の依頼により、建築家ポール=エルネスト・サンソンによって1877年に建てられました。

歴史ある大庭園

ブロイ公の希望を汲んで作られた広さ21ヘクタールの歴史ある大庭園は、イギリス風の風景式庭園で、1884年から、19世紀末のフランス有数の造園・建築家アンリ・デュシェーヌが設計を手がけました。



Le Parc Historique - © Eric Sander

- ▶ 年中無休（但し1月1日と12月25日を除く）
- ▶ 冬季には暖房が入ります。
- ▶ 「国有備品」から素晴らしい家具調度品が寄託されています。
- ▶ 数々の部屋に現代美術の作品が展示されています。
- ▶ 庭園を散策しながら独創的な作品が鑑賞できます。



Carré et Rond, jardin pérenne de Yu Kongjiang, Prés du Goualoup - © Eric Sander

国際庭園フェスティバル

当領地を象徴するこのフェスティバルは、創造性、イマジネーション、詩、自然をテーマとしています。25年以上に渡って、庭の専門家や愛好家から高い評価を得てきた当フェスティバルは、毎年世界中から造園家や庭園デザイナーを招待しています。当フェスティバルの開催にあたっては、複数の分野にまたがるチームが提案するプロジェクトの中から、毎年20を超えるプロジェクトが審査員によって選ばれます。また、特別ゲストには「グリーンカード」が与えられます。フェスティバルでは毎年異なるテーマが設けられ、驚くようなテーマの発表を誰もが楽しみに待ち受けます。



De la autre côté du miroir, Festival des Jardins 2017 - © Eric Sander

国際庭園フェスティバルの周辺

グアルー公園

2012年に作られた10ヘクタールほどの広さのグアルー公園は、優れた庭園文化を持つ日本、中国、韓国、イギリスなどにちなんだ庭園が常設されています。

当公園には、Yu Kongjiang、Wang Shu（2012年プリツカー賞）、Che Bing Chiu、高野文彰、鈴木昌道といった有名な建築家や造園家の作品、また、クリス・ドゥルルー、パブロ・レイノソ、アンドレア・ブランツィなど、世界的なアーティストの作品が集められています。



La Promenade des iris bleus, Prés du Goualoup - © Eric Sander

小温室

国際庭園フェスティバルの会場内にあるこの現代的なデザインの温室は、水生植物の見事なコレクションを展示しています。

菜園

当領地の入り口付近にあるこの菜園では、様々な香りや色に導かれながら、植えられた作物の間の散策が楽しめます。ここは、昔ながらの忘れられた野菜を保存していく場所であり、その良さを新たに発見する場所となっています。デザインも材料も独創的なこの現代的な菜園の良さを、ためらうことなく取り入れてください！



Les belles aux eaux dormantes, Festival des Jardins 2017 - © C. Diaz

ダリアの迷宮

グアルー公園の「鏡の庭園」の隣には、小道に沿って優しい色合いのダリアが植えられたダリアの迷宮があります。スパイラルを描くこの迷宮は、静かな散策や、出口を見つける楽しい遊びに人々を誘います。

- > 2018年4月24日から11月4日まで
- > 1992年から続く、現代的な造園デザインの実験の場
- > 毎年異なるテーマで30の実験的庭園を新設
- > 新人を含む有名な造園家による作品の数々
- > 25年間に700を超える庭園が誕生



Ugwa, installation d'El Anatsui, 2016 - © Eric Sander

自然と芸術の中心地

芸術・自然センターでは、毎年、世界的に有名なアーティスト、造形アーティスト、写真家を招待し、自然をテーマとした斬新で独創的な作品の制作を依頼しています。32ヘクタールの広さの領地内のあちこちに展示されるこれらの芸術作品は、アーティストと当領地の精神が見事に会って生まれたものあり、領地を散策する見学者に、発見と驚きと感動を与えてくれます。

芸術作品のインスタレーションが置かれている場所：
ショーモン城、乾し草小屋、中庭のアートギャラリー、ミツバチの納屋、ろば小屋、厩舎のアートギャラリー、歴史ある大庭園の各所。



Glossolalia, installation de Sheila Hicks, 2017 - © Eric Sander

年ごとの常設作品

サントル＝ヴァル・ド・ロワール地域圏からの特別注文により生まれた、当領地を代表する作品の数々：

2017年-2019年：シーラ・ヒックス

画家が絵具を使うように、さまざまな色の糸やファイバーを素材にして作られた見事な作品。

2014年-2016年：ガブリエル・オロスコ

ブロイ公妃の時代のタペストリー（壁紙）からインスピレーションを汲んで作られた「幻の花」。

2011年-2013年：サルキス

現代的なステンドグラス作品「他の場所、ここ」では、うつろう光に浮かび上がる、時間を超越したもうひとつのリアリティーが表現されています。

2008年-2010年：ヤニス・クネリス

当領地の歴史と建築の対話。梁の迷路、銅製の鈴の森、奇妙で魅力的な世界。



Les Racines de la Loire, installation pérenne de Nikolay Politsky - © Eric Sander



Chaos, installation pérenne de Vincent Barré - © Eric Sander

歴史ある大庭園に置かれている数々の作品は、年間を通して、驚きに満ちた詩情あふれる散策の楽しみを見学者に提供しています。

>2018年3月31日から11月4日まで

>毎年更新される文化プログラム。

>2008年以降、100人を超える現代美術のアーティストおよび写真家を招待。

>世界的に有名な造形アーティスト：アンディー・ゴールズワージー、エル・アナツイ、ジュゼッペ・ペノーネ、川俣正、フランソワ・メシヤン、アンヌ&パトリック・ポワリエ、ニコライ・ポリスキー、ヴァンサン・バレー…

>世界的に知られる写真家：エドワード・バーティンスキー、ベー・ビョンウ、アレックス・マクリーン、アンドレアス・グルスキー…

>3500m²の広さを持つ展示ギャラリー。



ドメーヌ・ド・ショーモン・シュール・ロワールのマップ





Monochrome blanc, Festival des Jardins 2017 - © Eric Sander

ドメヌ・ド・ショーモン・シュール・ロワールへのアクセス

パリの南へ185km弱。トゥールとブロワの間に位置します。

交通の案内

自動車ご利用の場合 (駐車場無料)

ショーモン・シュール・ロワールへのアクセス：県道RD952 (右岸)、県道RD751 (左岸)。

高速道路A10：ボルドー方面出口N° 17 (ブロワ) からショーモン・シュール・ロワールへ約30分

高速道路A10：パリ方面出口N° 18 (アンボワーズ) からショーモン・シュール・ロワールへ約30分

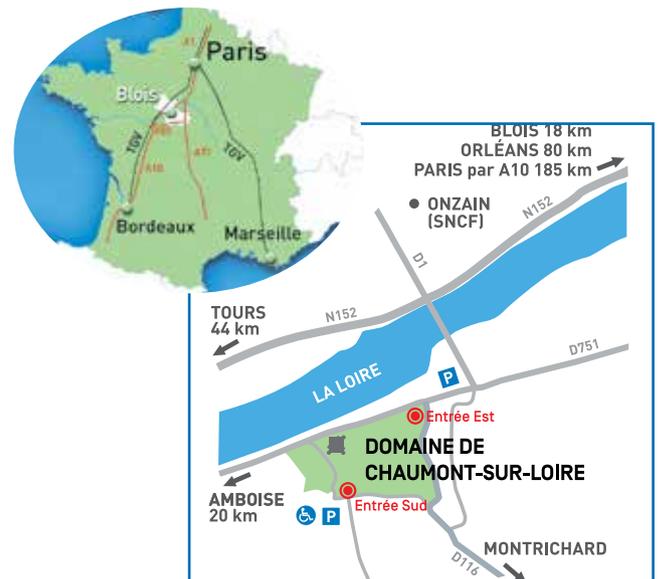
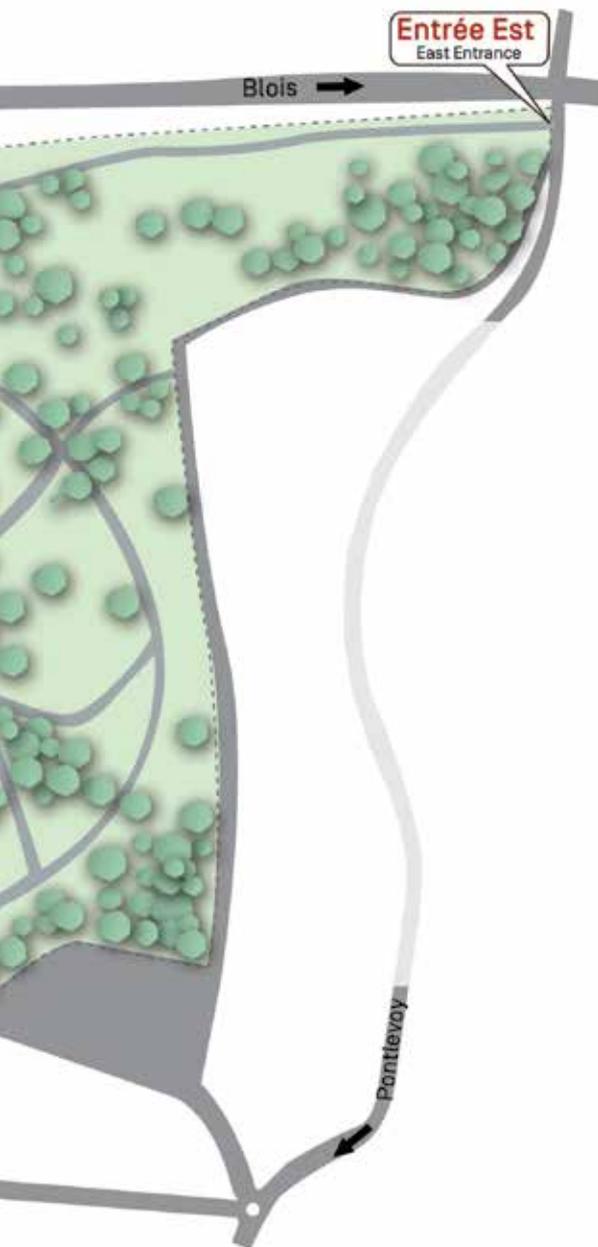
高速道路A85：出口N° 12 (サン・エニアン) からショーモン・シュール・ロワールへ約30分

特急列車ご利用の場合

- パリ・オステルリッツ駅発⇒オンザン/ショーモン・シュール・ロワール駅着、所要時間：約1時間40分 (INTERCITÉS利用)
- トゥール駅発⇒オンザン/ショーモン・シュール・ロワール駅着、所要時間：約30分 (TER利用)
- オンザン・ショーモン・シュール・ロワール駅、ドメヌ・ド・ショーモン・シュール・ロワール間を有料送迎シャトルバス (アザリス) が4月から10月まで運行しております。

ラ・ロワール・ア・ヴェロ (LA LOIRE A VÉLO)

ショーモン・シュール・ロワール村を通り抜けるサイクリングコースを自転車で走るのが最適です。ドメヌ・ド・ショーモン・シュール・ロワールの北口と南口に駐輪場とロッカーがあります。





ドメヌ・ド・ショーモン・シュール・ロワールのレストランとブティック

レストラン

レストラン・チームは、当領地が催す各種プログラムの創造性に応えるべく、料理の分野で素晴らしい芸術性を発揮しています。

- ＞ 5つのダイニングエリアが当領地に設けられています。
- ＞ 3タイプのレストラン：ガストロノミーレストラン、ビュッフェスタイルのレストラン、サンドイッチ・コーヒー・紅茶などの軽食レストラン。
- ＞ 領地内で調理される料理：質の高い、無農薬で地元産の新鮮な材料をできるだけ使用。
- ＞ リサイクル可能または生分解性の食器を使用。分別ゴミ箱を設置。
- ＞ 手作りのアイスクリームやシャーベットを販売。
- ＞ 小食の人もたくさん食べたい人も、同様にご満足いただけます。

LE GRAND VELUM (ル・グラン・ヴェラム)

料理と美食の工房であるこのレストランでは、毎年、食のクリエイターが考案した、国際庭園フェスティバルのテーマにちなんだメニューを提供しています。丁寧なおもてなしとサービスでお客様を温かく迎えるこのレストランは、当領地の格調ある雰囲気とふさわしい場所となっています。

- ＞ 前菜、主菜、デザート、料理に合わせたワイン、コーヒー
- ＞ 営業期間：2018年4月24日～9月30日、営業時間：12時～14時30分
- ＞ 要予約

LE COMPTOIR MÉDITERRANÉEN (ル・コントワール・メディテラネアン)

目の前で調理されるフルーツ、野菜、「自家製」生パスタを中心とした、セルフサービスによる屋外のビュッフェ形式レストラン。季節によって変わるクリエイティブな料理は、ビュッフェ形式で食べ放題。小食の人もたくさん食べたい人も、同様にご満足いただけます。

- ＞ 野菜ジュース、アンティパスト、「自家製」生パスタのビュッフェ、アイスクリーム、ワイン、コーヒー
- ＞ 営業期間：2018年3月31日～11月4日、営業時

間：12時～15時

＞ 要予約

LE CAFÉ DU PARC, LE CAFÉ DES SAVOIRS ET DES SAVEURS, LE SALON DE THÉ, L' ESTAMINET

場所と天候に応じてテラス席または屋外席が利用できる4つのテイクアウト店。キッチンスタッフが作った各種サンドイッチ、サラダ、デザート類や、手作りアイスクリーム、お飲物など、軽食を取り揃えています。

＞ Le Café du Parc, l' Estaminet と le Salon de Thé の営業期間：4月下旬～11月上旬

＞ Le Café des Savoirs et des Saveurs は年間を通して営業

ブティック

ショーモン城内のブティックでは、ショーモン・シュール・ロワール城、ロワール渓谷の城、フランス歴史などに関する書籍、また、ドメヌに展示されている現代美術のさまざまな作品に関する専門書を販売しています。ショーモン城のブティックは年中営業しており、営業時間は城の開館時間と同じです。

庭園のブティックでは、さまざまな種子や植物、国際庭園フェスティバルのこれまでのカタログ、また、造園、エコロジー、庭園に関する多数の書籍を販売しています。「ウエルネス」コーナーでは、香水やエッセンシャルオイルなども販売しています。営業期間は国際庭園フェスティバルと同じです。



Vue aérienne du Château © BR

一年を通したさまざまなイベント

- ＞ 光の庭園：7月と8月の真夏の夕べに、国際庭園フェスティバルの作品を見ることができます。遊歩道において、夜間の散歩をお楽しみ下さい。
- ＞ ショーモン城のライトアップ：2014年以降、ショーモン城のファサード、巡視路、歴史ある大庭園が年間を通してライトアップされています。
- ＞ 秋の輝き：秋の柔らかい日差しの中で、秋の日と紅葉を祝います。
- ＞ 冬の庭園：この時期になると、当領地の温室、菜園、厩舎、農場中庭が、夢見るような場所に変わります。

全プログラムについては、当領地のウェブサイトをご覧ください：WWW.DOMAINE-CHAUMONT.FR



Spécialité d'automne, 2016 © Eric Sander



Printemps d'hiver, 2016 © Eric Sander



Le jardin des nuées qui s'attardent, jardin pérenne de YWang Shu, Prés du Coulaoup - © Eric Sander

料金

春～夏（ハイシーズン）

＞ 領地全体に40を超えるインスタレーションと現代美術作品を展示

＞ 国際庭園フェスティバルの一環として作られる30の新しい公園

＞ 32ヘクタールの庭園と公園（歴史ある大庭園、グアルー公園）

＞ ショーモン城とその家具調度品、豪華な厩舎

大人料金：18ユーロ、子供料金（6～11才まで）：6ユーロ

秋～冬（ローシーズン）

＞ 歴史ある大庭園、厩舎、ショーモン城、農場中庭にあるインスタレーションと現代美術作品の展示

＞ ショーモン城とその家具調度品、豪華な厩舎

＞ 歴史ある大庭園

大人料金：12ユーロ、子供料金（6～11才まで）：4ユーロ

ショーモン城のマルチメディアガイド

「標準的な見学」（45分）、「深く味わう見学」（1時間15分）、料金（1人当たり）：4ユーロ

ショーモン城のアプリ（Google PlayとApp store）

「発見」見学（45分）と「熱心な」見学（1時間15分）、料金：2、69ユーロ



Château vu de l'autre rive de la Loire © DR





41150 Chaumont-sur-Loire
T. 02 54 20 99 22
contact@domaine-chaumont.fr
www.domaine-chaumont.fr

Établissement de coopération
culturelle créé par la Région Centre-
Val de Loire et la commune de
Chaumont-sur-Loire

